平成 22 年 2 月 26 日

# 「創刊 10 号ほぼ月間太っ腹新聞」 ～カーリングは面白いぞ！の巻～

読売センター代田橋梅丘　所長　　柴田秀昭

皆さん、こんにちは、もうすぐ春ですね～。毎年恒例のことですが、このところ我が女房の眼は充血、鼻はぐすぐす・・・花粉症の症状。家内のつらそうな顔を見てなぜか、にやつきながら春の訪れを感じるワタシです。

ところで、ご覧になってますか？バンクーバー冬季五輪。我が家では只今カーリングが一大ブーム！漬物石をモップで掃きながら狙った場所においていく、アレ。最初はルールもわからず「ナニコレ？」ってかんじでしたが、観戦するにつれルールも少しずつ分かりはじめ、その面白さに惹かれます。

我が家で特にご熱心なのが女房殿。もうすっかり、いっぱしのカーリングマニア。「もう少し内に寄せなきゃ」とか「次でダブルテイクアウトできる！」だの、解説者気取り。挙句の果てにはテレビに向かって「ヤーッ・ヤーッ」と声をあげる始末。他人様の掃き掃除に夢中になり、我が家のお掃除は後回し。（あんまり書くと怒られそう・・・）

一方、ワタシのほうはですねぇ。女子の競技となれば、やはり気になるのはそのルックス。日本代表チームは「クリスタルジャパン」というよりも「チーム青森」というほうがしっくりきますなぁ。皆さん、なかなかの美人ですが、素朴な感じが更にグッド。試合中にチームメイトと打ち合わせの言葉がほんのり北国なまりだったりするのがたまりません。マリリンこと本橋麻里さんが一番の人気らしいのですが、ワタシのごひいきは「近江谷杏奈さん」。いつも半袖で頑張ってるあの娘です。ちなみにお父さんも元日本代表、妹さんもカーリング選手とか。「そんなこと知ってるわよ」ですよね、読売新聞にも書いてありましたっけ。ならばとっておきのネタを。目黒萌絵選手のお父さんは、以前から自分で丸太の皮をはいで丸太小屋を作って住んでいるとか。ガスはプロパンらしいのですが、お水は近くの沢から引いているらしく「まさにリアル黒板五郎やぁ～！」ってことは目黒萌絵選手は蛍ちゃん？家の裏で「ルー、ルルル」ってキタキツネ呼んでたりして。「なに、くだらないこといってんの、関係ないでしょカーリングとは」まあまあ、一応豆知識ということで。

このように、美人揃いの日本チームですが、他国の選手の中には「元美人？」の面々も。けっこういろんなチームにいるんですよね、お母様風の選手。またコレがすごいんですよ。見事な体格の腹の底からしぼり出すような声。「ウォ～！」それだけでストーンが 10 センチは動くぞ！特に出色はドイツの選手。あの気合に負けちゃったのかも・・・・あれに対抗できる日本女性はそうはいないッス。まぁ、しいてあげれば和田アキ子、北斗晶、野村サッチー、和泉節子・・・・・なんだ、けっこういるんじゃん。

冗談はともかく、カーリングの戦術性はオリンピックを転機にさらに多くの日本人を魅了することでしょう。冬季五輪の競技の多くはゴーグルやサングラスで選手の顔や表情は分かりづらいのですが、その点カーリングはテレビ向き。アップの映像あり、ピンマイクで選手の声まで聞こえます。試合時間が少々長めなのが難点ですが、これからは来ますよ～「カーリング！」。ところでウチの娘の名前は「まり」。こりゃやらせるしかないっしょ！「第二のマリリンやぁ！」次の瞬間、女房殿の一声「だめっ、冷え性になるから」。・・・・・・・こうしてカーリング娘養成計画は 2 秒で頓挫しました。

すいません、また今月もくだらん話でした。さて今月のプレゼント。今月はご愛読のお嬢さん方(by みのもんた)のために！

**「ひなあられ&桃の香り入浴剤」**

元お嬢さんも、どうぞお申し込みを。応募方法はいつものとおり、先着 100 名さま限りです。
電話　3429-3965（月～土夜9時、日・祭昼 12 時まで） ファクス　3439-3409 メール　info@yc－shibata.co.jp
お届けはひなまつりに間に合うようできるだけ早くお届けします。では、また来月。